

HULEC

2023.4

1 New Curriculum - Started in Spring 2022

弘前大学教養教育英語
科目の理念・新カリキュ
ラムの内容とは？外部
試験で単位認定？

2 Self-study

Extensive Reading
映画教材
イングリッシュ・ラウンジ

3 Student Comments

英語の授業は、本
当に役立つのか？
楽しいのか？

4 Student Activity

2022年12月
多文化愛好会MC
設立！

5 Special Feature

「私にとっての英語」

弘前大学 教育学部の3名にインタビュー



Hiroaki University Liberal Arts English Courses

1 New Curriculum - Started in Spring 2022



フレック

2022年度、弘前大学教養教育英語科目(Hirosaki University Liberal Arts English Courses: HULEC)では、新しいカリキュラムを開始しました。新カリキュラムの4つの特徴を紹介します。

理念「国際共通語としての英語」

弘前大学教養教育英語科目 (HULEC) では、「国際共通語としての英語」の理念を基本的な枠組みとし、学部を問わず必要な学術や将来の進路を見通した英語能力の基礎を育成します。国際人として、あらゆる文化的・言語的背景をもつ人々とコミュニケーションするための英語能力を身につけます。

順次性あるカリキュラム

1年次（必修科目）：English Communication

1年次では、4技能をバランスよく学ぶために、「Listening」と「Speaking」中心の授業（English Communication A/B）と、「Reading」と「Writing」中心の授業（English Communication C/D）を必修科目として、それぞれ1コマずつ通年で開講します。

	前期	後期
ListeningとSpeaking中心	English Communication A	English Communication B
ReadingとWriting中心	English Communication C	English Communication D

2年次以上（選択科目）：Academic English（2023年度に本格的に開始します）

2年次以降は、1年次で学修したことを踏まえ、それらを統合して広く使う力を磨くために、「Academic Writing & Presentation」「Content and English Integrated Learning」「English for Global Communication」「English for Tests」の4科目の Academic English を選択科目として、それぞれ毎年度1コマずつ開講します。

前期	後期
Academic Writing & Presentation	English for Global Communication
Content and English Integrated Learning : ○○	English for Tests : ○○



「Content and English Integrated Learning : ○○」と「English for Tests : ○○」の「○○」は毎回変わります。そのため、2年次~4年次まで、それぞれ3回履修することができます。

2023年度は、「Content and English Integrated Learning : Psychology」と「English for Tests : TOEIC」が開講されます。

2023年度に本格的に開始するAcademic English <English for Global Communication> では・・・

英語が母国語ではない留学生がゲストとして参加します。**世界の多様な英語 (Englishes)**に触れながら、「国際共通語としての英語」を実感することができます。プレオープンの2022年度は、バングラディッシュ、ベトナム、タイ、フランス、ケニア、インドネシア、マレーシアからの留学生がゲストとして参加しました。日本人学生によるWorkshopでは、グループごとにあやとりや福笑い、折り紙、三味線などを英語で留学生に説明、実践しました。また、留学生によるWorkshopでは、留学生の国の食文化やお金、ゲーム、占いなどについて教えてもらいました。

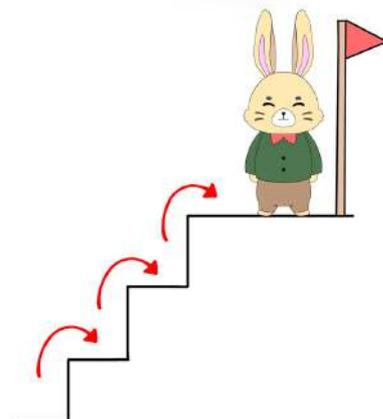
*次号 (HULEC 2024.4) は、Academic EnglishのStudent Commentsを掲載予定です。お楽しみに！



習熟度別クラス編成

1年次クラスでは、学部を問わずに、入学時の英語習熟度によって、**英語習熟度別クラス編成**を行います。

1クラスは約30名です。クラス内の英語習熟度レベルが揃っているため、自分のレベルに合った、よりきめ細かな指導を受けることができます。前期の成績と学期末に実施する外部試験の結果次第では、後期に上のレベルのクラスに移ることも可能です。2年次以上のAcademic Englishでも、英語習熟度によって2クラスに編成されます。



教科書

教科書は、English Communication A/BとEnglish Communication C/Dでそれぞれ同じシリーズの教科書を通年で使用します。**クラスの英語習熟度に合った教科書レベル**を使用します。それぞれの教科書には**オンライン教材**が付属されており、それらの教材を予習・復習・Self-studyに活用することができます。また、教科書の他に、HULEC教員が作成した全クラス共通の教材「**弘前大学教養教育英語科目 学習ガイドブック**」があり、教科書と併用して活用します。



BYOD

弘前大学は、ノートパソコン等を持参して学修する**BYOD (Bring Your Own Device)**を必須としています。HULECでも、Writing活動や、教科書付属のオンライン教材、アプリを用いた活動等にデバイスを使います。

単位認定制度

入学時の英語習熟度を測定するために、**英語プレイスメントテスト**（VELC Test®）を4月の入学式前後に実施します。この英語プレイスメントテストで英語習熟度が高いと認められた学生は、**English Communication の4科目のうち2科目の単位認定**を申請することができます。他にも、以下に記載されている外部試験の結果によって、単位認定を申請することができます。単位を認定された場合、申請した科目の成績は「秀」となります。また、1年次生でも2年次以上対象の**Academic Englishを履修**することができます。



試験	資格
VELC Test	700 点以上（該当者は4月のクラス分け時に発表されます。）
実用英語技能検定試験	1 級・準 1 級
TOEFL iBT	79 点以上
TOEIC Listening & Reading Test	730 点以上
TOEIC Speaking & Writing Tests	310 点以上

2 Self-study

国際人となるために、一生涯楽しめる英語を、自律的に、そして楽しく学習する環境が弘前大学には整っています。例えば・・・

Extensive Reading

自分の好みに合った本を好きなだけ読むことによって語彙力・速読力を高める

弘前大学附属図書館とイングリッシュ・ラウンジには、比較的短くて簡単な英語で書かれた多読（Extensive Reading）用図書が揃っています。レベル別になっており、絵本タイプから大人のネイティブ・レベルまで、自分の英語能力レベルに合わせて、さまざまなジャンルの本を読むことができます。紙媒体で貸し出しされている本もあれば、学内のWi-Fiに自分のデバイスを接続することでダウンロードできるeBookもあります。English Communication Cの活動で取り入れられることがあります。

映画教材

自分の好きな映画をたくさん鑑賞し、話し言葉やコミュニケーション技法を学習する

弘前大学附属図書館には、英語学習におすすめの映画の DVD とそのスクリプト本（字幕が書かれた本）も揃っています。映画は、ディズニー映画やSF映画など、さまざまなジャンルが揃っています。スクリプト本には、映画の背景や出演俳優の紹介、語句の説明が載っており、その映画のリスニング難易度も提示されています。

イングリッシュ・ラウンジ

外国人の先生や留学生との英会話や異文化体験、盛りだくさんの自主セミナー、授業に関する質問や相談、視聴覚教材の利用など楽しいコミュニケーションで世界につながります。

* 詳しくは [イングリッシュ・ラウンジのHP](#) をご覧ください。

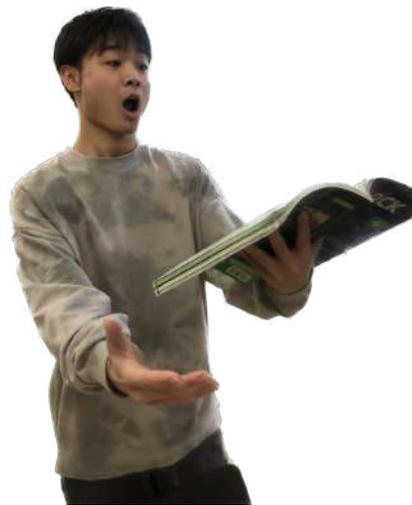
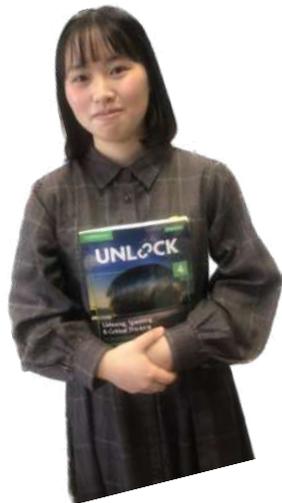


English Communication A

和知明さん (人文社会科学部)

/Alastair Butler 先生

初めは先生のイギリス英語の速さについていくことができず、リスニングの弱さを改めて思い知らされました。授業では、主に教科書の問いに対して意見を交換し、議論を深めました。自分の考えを正確に英語で言うことはやはり難しく、それに対する先生の質問に応答するのもも苦勞を要しました。プレゼンでも一番大変だったのは、先生の質問に対する応答でした。しかし、自分でも驚きましたが、前期の授業が終わりに近づくにつれ、入学当初よりもはるかに先生のイギリス英語を聞き取れるようになっていきました。リスニング力の強化につながる授業で自分の糧にすることができたと思います。



English Communication B

名古屋聖流さん (教育学部)

/Anthony Rausch 先生

授業では教科書の英文のリスニングを聞いて英文を音読し、グループで英文を読み合うといったことを行いました。Rausch先生の授業ではそれらの活動だけではなくRausch先生のユーモアあふれる話とともに日常的な英語に関する雑学をお聞きすることができます。例えば、皆さんは「久しぶり」を英語でどのように表現しますか？ Long time no see? It been a while? また、この2つの英文の違いとは？ Rausch先生の授業ではこういった英語のネイティブスピーカーにしかわからない微妙なニュアンスの違いなど、高校の英語の授業では知ることができなかったより一層深く、英会話などに役立つ英語の知識を学ぶことができます。こういった実践的な英語の知識を知ることができるのは大学の授業ならではのようです。ぜひこのようなより深い英語の知識を私たちとともに学びませんか。

3 Student Comments

1年次のEnglish Communicationでは、それぞれどのような授業が行われ、学生はその授業をどう思っているのか、率直な意見を聞いてみました！

English Communication C

貞廣大聖さん (農学生命科学部)

/小野寺進先生

小野寺先生の授業では、毎回の授業の初めに必ず多読 (Extensive Reading) を行います。この多読は、英語で書かれた短い物語を10分間黙読するというものです。多読に使われる物語の内容は様々で、どんどん読み進めたいこと間違いなしです！私はこの多読を通して、明らかに英文を読む速度が上がり、読解力が身につきました。英語の物語を理解できるようになるなんて、初めは思いもしませんでしたが、多読はそれを可能にしてくれます。みなさんにもその喜びを体験してみたいです。そして、小野寺先生は時に海外での体験談について話をしてくれることがあります。海外での経験が豊富な先生から学ぶことは、確実に英語力の向上に繋がります！積極的に授業に参加して、充実した英語学習にしていきたいと思います。



English Communication D

梶保乃花さん (医学部)

/近藤亮一先生

授業では、ただ問題を解くだけでなく、文構造や表現方法についてのミニコラムを日本語訳することがあります。なんとなく知っているような表現であっても、基本に戻りしっかり日本語訳してみると理解が深まり、確かな知識として身に付きます。また、ペア同士でお互いの英文を確認し合うことで、自分とはまた違う英文の作り方をしていたり、自分では気づくことのなかったミスを見つけてくれます。一人で淡々と問題をこなすのではなく、周りとの交流を通して様々な考え方を知り、自分の表現の幅が段々広がっていくことが、英語を学ぶ魅力です。

4 Student Activity

多文化愛好会MC

2022年12月、留学生と日本人学生が共に活動するサークルが立ち上がりました。HULECの目標である「国際人として、あらゆる文化的・言語的背景をもつ人々とコミュニケーションするための英語能力を身につけます。」をまさに具現化したサークルとして、今後の活躍が期待されます。

多文化愛好会MCは2022年12月に発足したばかりの弘前大学の公認サークルです。「留学生と交流してお互いの文化を学ぶ」という目的で、2023年2月現在、日本人学生のメンバーは11名です。

活動内容としては、月に1度ミーティングを開いて、留学生との交流について企画し、留学生を誘って、クリスマスパーティーなどのイベントやフリー・トーク形式で留学生と交流する、というものです。日本人学生と留学生と一緒に遊ぶ中でお互いの文化や言語に触れ、実際かなりわいわい楽しく活動しています。**英語だけではなく日本語も使うことで留学生に日本語を教え、一方でメンバーたちは英会話もできるという相互のメリットがあります。**もちろん、英会話に自信がないけれども外国文化に興味があるというメンバーもいます。いざという時は英語が得意なメンバーがサポートしてくれます。**英語の授業で学んだことを実践し、また、教科書には載っていないようなことを留学生との交流を通して学んでいますので、これまで苦手意識があった英語もとても身近に感じてきました！**今は韓国やフランス、イタリアからの留学生も参加してくれているので、これからは**多言語が飛び交うサークル**になるでしょう。

今後は留学生とのお出かけやその他のイベントも企画して活動を広げていく予定です。留学生の友人を作りたい、海外のことを知りたいと少しでも思っている方は是非一緒に活動しましょう。メンバー一同お待ちしております！



文：MCメンバー・宮井 楓さん（人文社会科学部）



I'm Hanif. I'm from Malaysia. I'm a third-year student in the Faculty of Science and Technology. At the Christmas party of this club, we talked in Japanese and English about Christmas in Japan, Malaysia, Taiwan, France, and other countries around the world. I learned about Christmas around the world and had a great time communicating with students from various countries. Even outside the club hours, I went to the snow festival with the members I became friends with.

5 Special Feature

「私にとっての英語」

今回のSpecial Featureでは、2年次科目を履修している教育学部2年*の先輩3名に、「自分にとっての英語とは？」というトピックでインタビューしてきました。インタビュアーは、多文化愛好会MCの会長・土屋 歩加（農学生命科学部 1年*）です。 *2023年1月インタビュー時

- Q1. 英語に興味を持ったきっかけは何だったのですか？
- Q2. 英語が身につく勉強法を教えてください。
- Q3. 将来英語を使ってトライしてみたいことはありますか？

齋藤さん

Q1. 小5から中1までベトナムに住んでいました。そこでの日本人学校の英語の授業がとても楽しかったです。オールイングリッシュのアイルランド人と日本語が入る日本人の先生の授業があり、授業内容はゲームが多めでした。

Q2. 「文で覚える英単語」を使って、単語レベルではなくて文のつながりで単語の意味や使い方を覚えています。歌や動画、映画などを使ってフレーズや音のつながりなども勉強しています。また、日常生活で気になった単語を常に調べています。例えば、蛾ってなんて言うのかな→moth→ポケモンにモスノウっている！これが意外と覚えられますよ。それから、ネイティブの先生と英語で話す機会を積極的に作っています。

Q3. 日本人学校で働いてみたいです。日本人学校で英語の楽しさ、面白さを知ったので私もそれを伝えられる授業がしたいです。

相馬さん

Q1. TVでアメリカのドラマ「iCarly」を見ていて、それが英語でしか放送されなくなった時に、「もっと見たい！理解したい！」と思ったことがきっかけです。劇を通して英語を学ぶ「ラボ」にも入っていました。

Q2. 主に好きな歌や映画を使って勉強しています。まずは音。単語の音と意味がリンクしてからスペルを確認します。好きな映画や歌だと、単語やフレーズをどんどん覚えていくことができ、また、意味だけではなく使い方もわかるので、英語の勉強がとても楽しくなりますよ。

Q3. 留学をしてみたいです。将来、卒業してすぐ英語の教員になることも考えましたが、まずは、留学したり海外で働いて経験を積んでから、そして自分を追い詰めてから、教員として英語を教えたいです。

毛内さん

Q1. きっかけは、学生の時叔母がアメリカの方と結婚したことです。一気に英語が身近に感じられるようになりました。本格的に勉強を始めたのは高校3年生の時に、友達に本気で英語を勉強していて、面白そうだから自分もやってみようと思いました。

Q2. 人と関わりながら学ぶこと。「Hello Talk」というチャットアプリを使っています。そこで知り合ったインド人と英語を使って朝から晩まで楽しくチャットをしています。その時に正しい英語で返そうと気負わないで、自分の知っている単語に置き換えて、気楽にやり取りすることで会話を楽しんでいます。

Q3. 海外にもっと友達を作りたいです。僕は津軽三味線を弾くので海外でのストリートセッションとかもしてみたいですね。

相馬 珠花さん
(英語専修)

毛内 仁斎さん
(音楽専修)

齋藤 光那さん
(英語専修)



大学生になると、高校までのように参考書片手に問題を解きまくるといった勉強ではなく、実際に人と英語でコミュニケーションすること、自分の好きな英語の歌や映画などで英語を楽しむこと、これらが大切なのです。インタビュー中、終始楽しそうに英語について熱く語ってくださった先輩方、貴重なお話をありがとうございました！



Hirosaki University Liberal Arts English Courses



フレック

© 2023 TAKEYAMA Ayane

竹山 綾音 さん（農学生命科学部）

発行：弘前大学 教育推進機構 教養教育開発実践センター 英語部門

E-mail : hulec@hirosaki-u.ac.jp

HP：教養教育に関する情報 <https://liberal-arts.hirosaki-u.ac.jp>

Webご意見箱：HULECに関するご意見 <https://forms.office.com/r/Ak8pznEGgV>

